

部活動について

部活動の意義と活動のすすめ

正課の授業による人間形成は意義あるものですが、一方部活動は教室では得ることが出来ない大切な一面を有し、大きな教育的効果が期待できます。

部活動は、自主的な集団活動により、心身ともに健全な学生を育成する極めて重要な教育活動です。学級や学年の枠を越え、しかも縦・横の人間関係の体験、部員としてリーダーとしての体験、また指導教員の人間性に触れていくことによって、全人格形成を目指すことができ、一層充実した学生生活にすることができます。

以上の意義により、本校では部活動をおおいに奨励し、特に第1、2学年においては全員がクラブ活動に参加しなければいけません。

活動の活性化と部の所属について

部活動は、自主的、自律的な精神に満ちた人間形成の場であり、運動部では試合、練習試合を多くすることによって、また、文化部では、展示会、発表会を催したり、コンテストなどに出場することによって活動を活性化できます。

しかし、部活動は集団活動であるので、部員数が部活の存続に直接影響を与えます。一つの部活に部員が集中しすぎたり、逆に少なくとも活動に支障をきたします。この弊害を解消するため、新入生の部活の所属については、新入生に所属したいクラブの希望をとり、顧問教員の要望も考慮して決定しています。

部活動・プロジェクトに関する行事

全国高等専門学校体育大会（全国高等専門学校体育大会、東海・北陸地区代表決定戦、北陸地区高等専門学校体育大会）

高専教育の一環として、学生にひろくスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成することを目的に、毎年8月に行われています。全国を8地区のブロックに分け、8地区からの代表が全国大会に出場することになっています。本校は東海・北陸地区のブロックに所属しており、この代表権を得るための北陸地区高等専門学校体育大会が、富山、石川、福井、本校の各高専が参加して、毎年7月に行われています。

全国高等学校体育大会（石川県高等学校体育大会）

第1、2、3学年の運動部員は高等学校体育大会への参加が可能であり、多くの部が春と秋の大会に出場しています。

文化部の発表

毎年10月、高専祭の一環として各文化部の発表が行われています。

高専ロボットコンテスト

高等専門学校の学生たちが同じ課題のロボット製作に取り組み、その成果を競い合う「アイデア対決ロボットコンテスト」に毎年出場し、ユニークな「発想力」と「独創性」を養っています。

高専プログラミングコンテスト

情報処理技術において、優れたアイデアと実現力を競う「高等専門学校プログラミングコンテスト」に毎年出場し、成果をあげています。

部活動名、顧問教員および監督コーチ（注：*は兼務）

部	顧問名	監督・コーチ
陸上競技	○谷口 萌未	
卓球	○袖 美樹子	
バドミントン	○小間 徹也	
水泳	○藤澤 武	
吹奏楽	○テイラー・ジェームス	
電子計算機	○藤澤 武*	
ハンズオン	○伊藤 恒平	
ネイチャー&アドベンチャー	○山崎 俊太郎、瀧辺 豊、ケザウ・フィリップ	
ランゲージ&カルチャー	○ベアード・ポーリン、 スティーブソン・イアン、松下 臣仁	
デザイン&ファブ리케이션	○久島 康嘉、伊藤 周	

バスケットボール部、野球部、サッカー部、ハンドボール部、バレーボール部、ソフトテニス部、テニス部、剣道部、柔道部、スキー部、放送・無線部、写真部、美術部、囲碁・将棋部を休部とする。
○印は主任顧問

プロジェクト

プロジェクト	顧問名
創造系コンテスト (ロボコン、プロコン、デザコン他)	○林 道大、伊藤 周*、藤澤 武*、 ソングー・ロバート、 ウォルファース・ブランドン、 久島 康嘉*、ハン・ジャスティン、 若松 大暉
英語プレゼンテーション	○津田 明洋、スティーブソン・イアン*、 テイラー・ジェームス*

特別講座

講座	顧問名	講師
華道講座	○宇都宮 隆子、黒田 譜美、ハン・ジャスティン、 レノルズ・ステファニー	南川穂和